

令和5年度「平和の集い」開催

松戸市では、「世界平和都市宣言」に基づき、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を祈願するとともに、悲惨な戦争を風化させることなく次の世代に継承し、改めて平和の尊さを認識していただくイベントとして令和5年度「平和の集い」を以下のとおり開催します。

●日時 令和5年11月26日（日）13時～16時 ※開場12時30分

●会場 松戸市民劇場ホール（松戸市本町11番地の6）

※駐車場無し

●内容 ◇13時15分～ 平和大使長崎派遣報告会

今年度、長崎市を訪問した平和大使（市内中学生）が、派遣を通じて学んだことや感じたことを発表します。

◇14時～ ピースセッション

異なる文化を持つ世界各国出身の方々が集い、平和について考え、意見交換した成果を代表者2名が発表します。

◇14時30分～ 地球のステージ MATSUDO 2023

世界中を巡り医療支援活動続ける現役医師
の くわやま のりひこ 桑山 紀彦 氏が、世界で現実に行き起きている紛争・災害・貧困の中で生きる人々の姿を、音楽と映像と語りを組み合わせたコンサートステージで伝えます。

※プログラムの進行状況によっては多少時間が前後する場合があります。

●定員 先着200人 ※申込不要

●費用 無料



桑山 紀彦 氏

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市総務部総務課 ☎047-366-7305

FAX 047-363-3200 ✉ mcsoumu@city.matsudo.chiba.jp

「平和の集い」



日時 2023.11.26(日) 13:00～16:00(開場12:30)

会場 松戸市民劇場ホール

〒271-0091 松戸市本町11番地の6

松戸駅西口徒歩5分

※駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

費用 無料

定員 先着200人(申込不要)

※手話通訳・要約筆記あり

プログラム

■ 平和大使長崎派遣報告会

—今年度、長崎を訪問した平和大使(市内中学生)が、派遣を通じて学んだことや感じたことを発表します。

■ ピースセッション

—異なる文化を持つ世界各国出身の方々が集い、平和について考え、意見交換した成果を発表します。

■ 地球のステージ MATSUDO 2023

—紛争・災害・貧困の地でたくましく生きる子どもたちの姿を、世界中を巡り医療ボランティアを続ける桑山氏が音楽と映像と語りで伝えます。



NPO法人
地球のステージ代表理事
くわま のりひこ
桑山 紀彦 氏

※内容が変更となる場合があります。
最新情報は市ホームページをご覧ください。



松戸市ホームページ
「平和の集い」

『平和の集い』は、平和基金を
活用して事業を実施しています。



松戸市ホームページ
「平和基金」

○ 公演者プロフィール

NPO法人 地球のステージ代表理事 桑山 紀彦 氏

これまでタイ-カンボジア国境の難民キャンプを皮切りに、湾岸戦争後のイラク、ソマリア、旧ユーゴスラビア、カンボジア、東ティモールなどで医療救援活動を行っている医師。現在も年に数回、東ティモールやウガンダで医療支援活動を展開している他、地震等の緊急医療救援、被災者の心のケアにも携わっています。

NPO法人地球のステージ代表理事。東日本大震災では自ら被災しながらも、震災翌日から2ヶ月間、24時間の診療体制で診療を行いました。その後は被災者のみなさんに寄り添いながら日々「心のケア」に携わってきました。現在は神奈川県海老名市にある「海老名こころのクリニック」の院長として、日々の診療にあたっています。



○ 公演内容

1. オープニング～「アメージンググレイス」

2. トルコ大地震救援篇～「アナトリア・ヴァレー」

2023年2月6日に発生したトルコ大地震の支援として、5月に物資配給ならびに巡回診療を行いました。支援時の様子をお届けするとともに、被災地で出会った人々の懸命に生きる姿をお届けします。



3. 東ティモール篇～「夢見る頃を過ぎても」

独立紛争時、医学生だったアイダは留学先のインドネシアから逃げ戻りました。閉ざされた医師への道。しかし諦めず自分の夢を追い続けたアイダ。そんなアイダの成長とともに、東ティモールの今をお伝えします。

4. ウクライナ篇～「地平線のひまわり」

ウクライナ人は、とても自国を誇りに思っている人々です。肥沃な大地に根を下ろして生きてきた人々。突然の侵攻という暴虐に対しても毅然としています。だからトラウマに向き合う力もちゃんと持ち合わせていました。隣国ルーマニアで必死に生きるウクライナの人々の様子と、日本への願いを伝えます。



5. ゼロ戦と大地篇～「この国へ」

平和であるということは、自分で自分の道を決めていける自由があるということ。今の平和は先人の様々な犠牲の上に成り立っているものであり、日々「平和」であることのありがたさを感じ取っていくことの大切さを伝えます。

6. 故郷篇～「ねがい」

足元をどう生きるか。この日本が私たちの故郷です。

7. エンディング